

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

国立国際医療研究センター病院では、本センターで保管している診療情報等を使って、下記の研究を実施しています。

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問合せ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究に利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の問合せ担当者までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

[研究課題名] *Ruminococcus gnavus* 菌血症の臨床的特徴に関する観察研究

[研究対象者] 平成25年(2013年)4月1日から令和5年(2023年)3月31日までに当センター病院を外来受診もしくは入院し、その期間中に血液培養検査から *Ruminococcus gnavus* が検出され、かつ *Ruminococcus gnavus* 菌血症と診断された18歳以上の方。

[利用する診療情報等の項目と取得方法]

電子カルテによるレビューにより以下の情報を取得します。

年齢、性別、既往歴、合併症、薬剤使用歴(特に抗菌薬)、体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度、内視鏡検査や放射線検査の結果(実施のある場合のみ)

[利用の目的] (遺伝子解析研究:無) *Ruminococcus gnavus*は健康な方の腸の中にも住んでいる、腸内細菌叢を構成する菌の一つです。臨床検体から検出される頻度が低いいため、本菌と病気との関連についてはいまだに不明な点が多くあり、報告も限られています。一方で微生物検査の診断方法の進歩により、今後この菌を検出できる機会が増える可能性もあります。私たちは本研究を通して、*Ruminococcus gnavus*が血液から検出された方の臨床的な特徴(どのような方から検出されやすいか)や、治療のための戦略について明らかにし、今後この菌による感染症の診療に役立つ情報を得ることを目的にしています。

[研究実施期間] 研究の実施許可日より2024年12月31日までの間(予定)

[この研究での診療情報等の取扱い]

本センター倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、利用・提供する診療情報等から氏名、生年月日等の情報を削除し、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱います。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者]

機関長: 国立国際医療研究センター 理事長 國土 典宏

研究責任者: 国立国際医療研究センター 国際感染症センター 早川 佳代子

研究内容の問合せ担当者: 国立国際医療研究センター 国際感染症センター 早川 佳代子

電話: 03-3202-7181 (代表) (応対可能時間: 平日 9時~17時)

作成日: 2024年6月10日

第2.0版